

東京大学における機械式地震計の地震記象

(第 1 報)

岩田孝行*・野口和子**

Historical Seismograms Recorded by Mechanical Seismographs at Tokyo University (Part 1)

Takayuki IWATA* and Kazuko NOGUCHI**

はじめに

東京大学における機械式地震計（煤書き式低倍率）による地震観測の主要な観測点は、神田一橋理科大学地震学実験所（1880 年–1923 年）、本郷理学部地震学教室（1889 年–1942 年）、本郷構内耐震家屋（1898 年–1961 年）、本郷構内土中室（1909 年–1961 年）、安田講堂時計台地下室（1961 年–1965 年）、本郷旧地震研究所地下室（1930 年–1967 年）及び現地震研究所地下室（1965 年–1993 年）である。各地震計室の地震計の種類については既に報告（岩田・野口, 2000）がある。

今回は東京大学地震研究所で保存されていた記象紙約 200,000 枚を古地震記象紙委員会発足後に整理した。その中の約 150,000 枚の内容と 1923 年関東地震の東京市内における微動計の臨時観測記象についての 2 点を報告する。これを通常の地震記象整理箱群と名づけた。

また、1982 年東京大学においてアジア・オセアニア地域の歴史地震記象ワークショップが開催された。その時に地震研究所の歴史地震記象（大森式地震計甲・乙・丙・丁型・グレイ・ユーイング型上下動計、今村式強震計等）約 40,000 枚のマイクロフィルム化を初めて行なった（岩田他, 1983）。この記象紙の内容については本稿続報として第 2 報に報告の予定である。

通常地震記象紙の調査

1887 年–1993 年に至る 100 有余年間、毎日 10 数成分の地

震計から記録された記象紙は、地震の有無に拘わらず保存されていたので膨大な量となった。

記象紙の調査は一枚毎に ①年月日、②観測場所、③地震計名、④成分、⑤常数、⑥地震の有無（近地地震か遠地地震か）、⑦震央・マグニチュードなどの項目について行なったが、地震計名、成分、常数等は不詳の記象紙が多くいた。原則的には記象紙の保存箱（1 年間分の同型記象入り）毎に整理を行なった。中には異種類の地震計記象が混合した保存箱もあった。また、以前に記象を抜き出して別の保存箱に移動してあったものについては、上記と同様に調査し追加分として扱った。追加 1 は教室・耐震家屋、追加 2 は教室・東京地方分・耐震家屋・土中室、追加 4 は現地震研地下室、追加 5 は東京市内の 1923 年関東地震余震観測で、追加 3 は筑波地震観測所の整理分である。なお、日付は記象紙の観測時刻なので地震の発震時とは必ずしも一致しない。記象紙は 2 日–3 日巻もあるので注意を要する。

中には、中央気象台や宮古、石巻、台湾、満州、樺太などの測候所へ送るための大森式地動計、大森式微動計の地震学教室におけるテスト記象（資料中に大阪行、ハワイ行とある）もあった。また各測候所から教室へ送付された記象なども含まれている。

資料 1 は 1880 年代後半から 1994 年に至る全地震記象の調査内容である。資料中の枚数はマイクロフィルム化してある数である。EGM とはユーイング・グレイ・ミルン型の地震計で 1881 年から 1902 年までの観測があり、2 成分又は 3 成分の円板記録方式である（EGM 地震計については第 3 報に詳細を報告の予定）。

1898 年以降になると大森式の地震計が出現しこれを基本にした微動計型・中周期型・長周期型・傾斜計等が出揃い、当時は地震計の開発、研究の盛んな時代であったことをうかがわせる。その後、今村式簡単微動計、今村式強震計、ウィーヘルト式などが次々に観測を開始した。1962 年

2003 年 9 月 1 日受付、2003 年 10 月 28 日受理。

* 研究支援推進員。

** 東京大学地震研究所技術部情報処理室。

* Research Support Staff,

** Technical Supporting Section for Information Processing, Earthquake Research Institute, University of Tokyo.

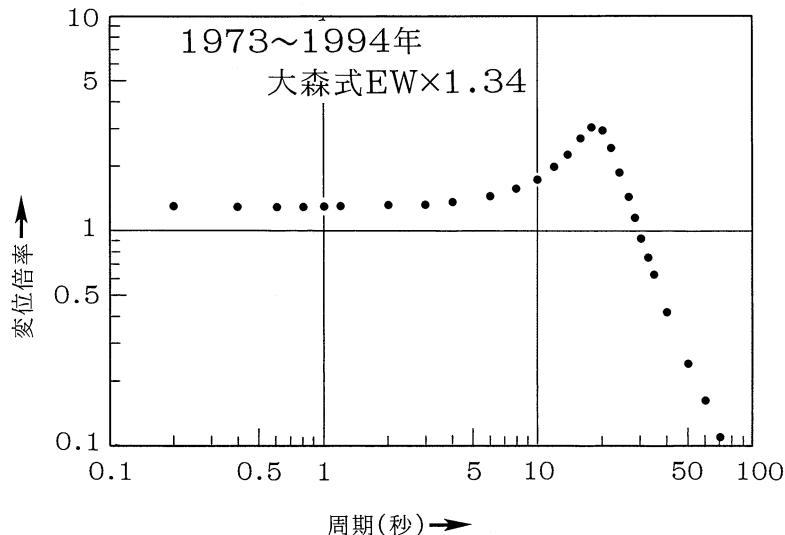


図 1. 1973 年-1994 年の大森式地震計 EW 成分の特性曲線

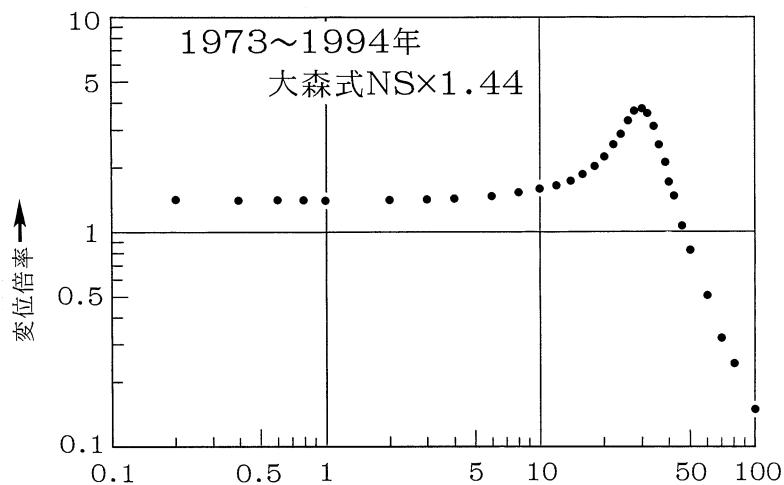


図 2. 1973 年-1994 年の大森式地震計 NS 成分の特性曲線

に大森式内号・丁号、土中室上下動、今村強震計、微動計は廃止された。

参考のため図 1 及び図 2 に現地震研究所地下地震計室にある大森式低倍率地震計（強震型）の振動倍率曲線図を示す。なお、地震計の常数は EW 成分 : 1.34 倍, $T = 19.9 \text{ sec}$, $h = 0.23$, NS 成分 : 1.44 倍 $T = 31.0 \text{ sec}$, $h = 0.18$ である。検定は 1973 年 4 月 2 日に実施した。この地震計は 1978 年伊豆大島近海地震 M 7.0, 1978 年宮城県沖地震 M 7.4, 1983 年日本海中部地震 M 7.7, 1984 年長野県西部地震 M 6.8, 1993 年釧路沖地震 M 7.8 等の記象を保存している。

また、1923 年関東地震の余震観測記象が新たに発見されたので加えた。その概要は次のとおり。

本震の約一ヶ月経過後の、1923 年 10 月 9 日から 1924 年 2 月 13 日の間、東京市下 31 地点に臨時地震観測点を設け（一部は移動観測の可能性もある）、微動計又は簡単微動計

（倍率 30-50 倍）による観測を実施し、345 枚の記録を残している。

表 1 はその臨時地震観測点名の一覧表である。図 3 は大正 10 年 5 月発行の東京市全図（安達、1921）上にその 31 観測点をプロットしたものである。しかし観測点の座標が不明であることと旧町名であるために、番地、神社名、建物名等を参考にしてそれら近傍の位置を示した。19 番の帝室林野管理局は「復刻古地図」を参考に位置を示した。

この記象紙 345 枚の内訳は、1923 年 10 月 9 日から 1923 年 11 月 1 日が 48 枚、1923 年 11 月 1 日から 1923 年 12 月 1 日が 91 枚、1923 年 12 月 1 日から 1924 年 1 月 1 日が 92 枚、1924 年 1 月 1 日から 1924 年 2 月 13 日が 114 枚である。

終わりに

1880 年代に始まった東京大学の地震観測は、ユーイン

図3. 1923年関東地震の余震観測点分布図（基図：安達，1921）

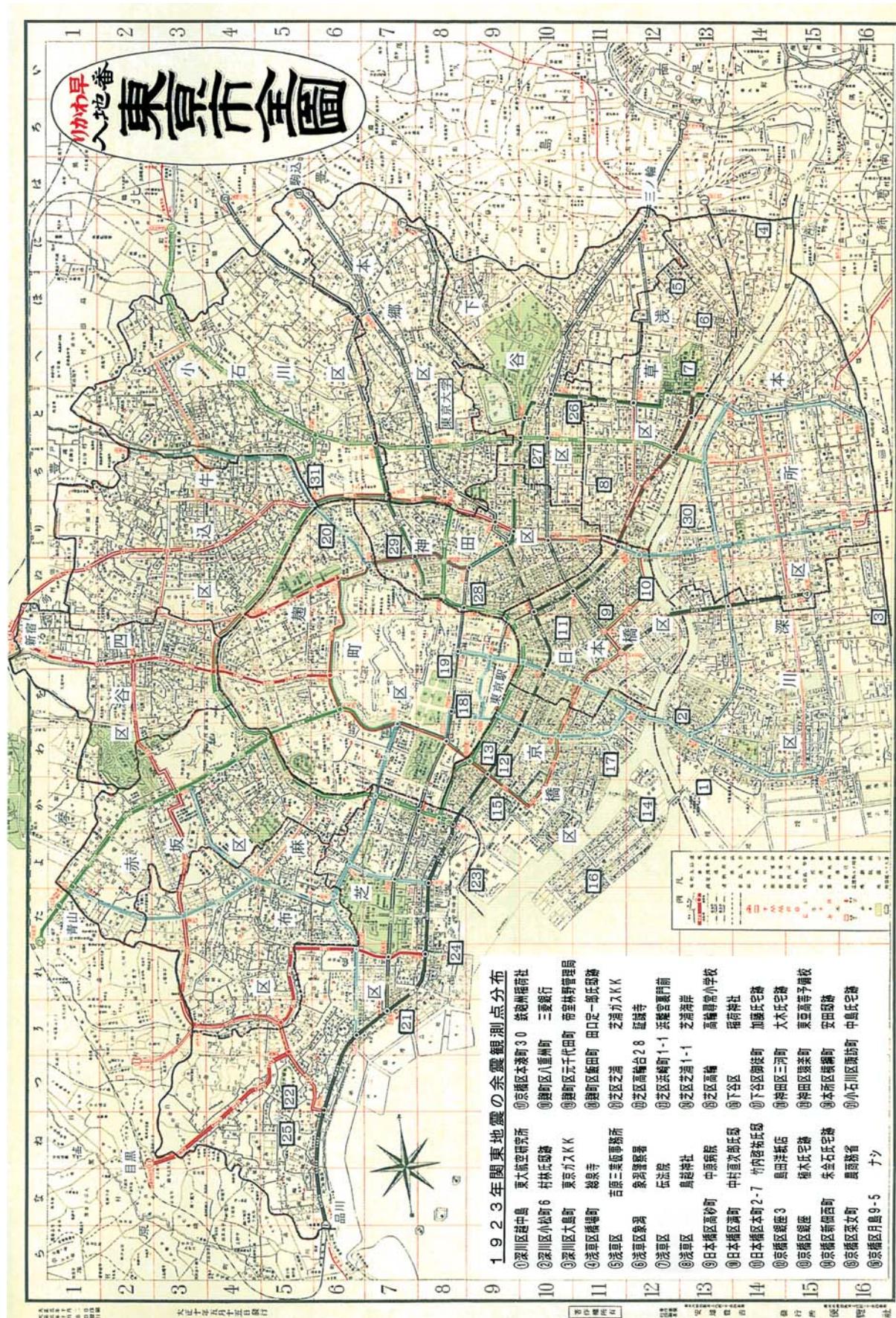


表 1. 1923 年関東地震直後における東京府下の臨時地震観測点地名一覧

設置点区町名	設置場所	設置点区町名	設置場所
1.深川区越中島	東大航空研究所	17.京橋元湊町	鉄砲州稻荷神社
2.深川区小松6	村林氏邸跡	18.麹町区八重洲町	三菱銀行
3.深川区大島町	東京ガス社	19.麹町区元千代田町	帝室林野管理局
4.浅草区橋場町	總泉寺	20.麹町区飯田町	田口定一郎氏宅跡
5.浅草区	吉原三業仮事務所	21.芝区芝浦	芝浦ガス
6.浅草区象潟	象潟警察署	22.芝区高輪台町28	誠誠寺
7.浅草区	伝法院	23.芝区浜崎町1-1	浜離宮裏門跡
8.浅草区	鳥越神社	24.芝区芝浦1-1	芝浦海岸
9.日本橋高砂町	中原病院	25.芝区高輪	高輪尋常小学校
10.日本橋区満町	中村直次郎氏邸跡	26.下谷区	稻荷神社
11.日本橋本町2-7	竹内啓祐氏邸跡	27.下谷区御徒町	加藤氏宅跡
12.京橋区銀座3	島田洋紙店	28.神田区三河町	大木氏宅跡
13.京橋区銀座3	植木氏宅跡	29.神田区猿楽町	東亜高等予備校
14.京橋区佃西町	朱金石氏宅跡	30.本所区横綱町	安田邸跡
15.京橋区菜女町	農商務省	31.小石川区諫訪町	中島氏宅跡
16.京橋区月島9-5	記名なし		

グ・グレイ・ミルン型の地震計水平 2 成分（円盤記録）から始まり、1884 年には上下動が加わり 3 成分となった。その後、1898 年に大森式地震計（水平）が、1902 年は上下動が稼動しているが、季節的な温度変化による不安定な記録が見られる。

1910 年になると微動計、普通地震計（強震型）、簡単微動計 2-3 成分、今村式 2 倍強震計、傾斜計、教室 1・2・3 号（全て大森式）、教室上下動計、耐震上下動計、土中室上下計動等による多成分の観測が始まった。

1923 年の関東地震とその後一年間分の記象は本郷、一ツ橋、筑波、浅間、地方分全てを日付順にして 11 箱に収納した。また、他の観測所や測候所の記象も含まれていたのでそのまま整理した。

謝 辞 :

今回の作業には東京大学地震研究所経費と地震予知情報センターの経費を使用した。なお原稿を一読していただいた島崎邦彦教授と本報告の投稿の機会を与えて戴いた東京大学地震研究所の古地震記象委員会ならびに故菊地正幸教授に感謝の意を表します。

文 献

- 安達豈吉, 1921, 東京市全図, 便覧社.
- 丸の内地図, 1921, 復刻古地図, 人文社.
- 岩田孝行・野口和子, 2000, 東京大学における地震観測及び機械式地計の名称と分類について, 震研技報, 6, 78-94.
- 岩田孝行・安田さき・野口和子・島崎邦彦, 1983, 歴史地震記象のマイクロフィルム化について, 地震研究所彙報, 58, 787-795.

資料1. 1880年後半から1994年の期間における全地震記象の調査資料

1880年後半-1899年		観音崎 EGM型	
大垣大神宮 EGM型	濃尾地震の予備調査	1895年	
1880年後半-1899年		教室 EGM型	円盤記録
岐阜県水鳥 EGM型	濃尾地震の予備調査	一ツ橋 EGM型	円盤記録
1887年		東京天文台 EGM型	円盤記録
観音崎 EGM型	ドラム記録	1896年	
一ツ橋 EGM型	ドラム記録	観音崎 EGM型	
1888年		1897年	
観音崎 EGM型		観音崎 EGM型	
一ツ橋 EGM型		1898年	
教室 EGM型		耐震 大森式地動計	遠震
1889年		宮古測候所 大森式地動計	
観音崎 EGM型		教室 大森式地動計	遠震
教室 EGM型	ドラム記録	1899年	
一ツ橋 EGM型	地震	教室 大森式地動計	
大塘 EGM型		耐震 大森式地動計	アラスカ
熊本県庁 EGM型		一ツ橋 大森式地動計	
1890年		宮古測候所 大森式地動計	
観音崎 EGM型		1900年	
理科大学 EGM型		耐震 大森式1号・2号・地動計甲	
一ツ橋 EGM型	コピー	一ツ橋 大森式・強震計・ユーリング型	
1891年		教室 大森式地動計・教室1号・他	
観音崎 EGM型		京都 大森式地動計	地震
理科大学 EGM型		有馬 大森式傾斜計	
一ツ橋 EGM型	地震顕著	宮古測候所 大森式微動計	
教室 EGM型		1901年	
岐阜県水鳥 EGM型		耐震 大森式甲・乙・地動計・傾斜計	地震
1892年		教室 大森式微動計・田中館強震計	アラスカ
観音崎 EGM型		本部 (教室?) 大森式傾斜計	東北強震
一ツ橋 EGM型		一ツ橋 普通地震計 (強震型)・微動計	
1893年		京都 大森式微動計	
一ツ橋 EGM型		宮古測候所 大森式地動計	微震
観音崎 EGM型		1902年	
教室 EGM型		一ツ橋 大森式地動計・普通地震計・微動計	地震
1894年		耐震 大森式1号・2号・甲・乙・微動計	中央アメリカ

資料 1. (つづき)

大森式傾斜計・強震計	トレキスタン	10/22 ドレコ・サマルカント地震
教室 大森式傾斜計・普通地震計・上下動計	南洋	1-12月 一つ橋 微動計
宮古測候所 大森式微動計・傾斜計	有感	6月 25 遠震良好 (3枚) 7/2,7/9 遠震良好
石巻測候所 大森式地動計	有感	6-12月 教室 1号
動物学教室 普通地震計	有感	顕著,ローカル地震,サマルカンド L 相,4/19 顕著遠震 2回
三菱銀行 普通地震計	有感	1907年-1910年
京都 大森式微動計		教室 上下動計×20 欠測多 1907/11/21,1907年8/5 有感顕著
1903年		1907年
一つ橋 大森式微動計・地動計		9-12月 八丈島 微動計 EW × 150, T = 4.3秒
教室 大森式微動計・教室 1号・他		1-12月 教室 1・3号 10・11・12月 欠測多
京都 大森式微動計		1908年
宮古測候所 大森式傾斜計		1-12月 八丈島 微動計
耐震 耐 1号・甲・乙・微動計・強震計		教室 1・3号 1/11 台湾地震, 1/15 顕著
1904年		一つ橋 微動計×100 (T=19s) 顕著
1-8月 一つ橋 地動計		1-12月 教室 各種地震計のテスト記録
6-12月 教室 微動計		(地方送致分) 1/15, 4/19, 11/22, 12/7, 12/12 に各顕著
1-6月 教室 微動計		1月 5-6日 教室・一つ橋 微動計 近地顕著
7-12月 教室 上下動計		1月 15-16日 教室 1号・微動計 近地顕著
11-12月 京都 微動計		一つ橋・八丈島 微動計
1-2月 宮古 微動計		1月 17-18日 耐震 微動計 近地顕著
8-12月 教室 微動計		1月 20-21日 教室 微動計×300 近地顕著
6-12月 宮古 微動計		2月 5-6日 教室 微動計×300 遠震顕著
9-11月 耐震 耐震 1号		2月 9-10日 一つ橋・耐震 微動計 遠震顕著
1-12月 教室 教室 1号		4月 19-20日 耐震 微動計 近地顕著
5/7ローカル地震,全振幅10cm良好,6/25-27遠震大,記録良好		5月 12-13日 一つ橋 微動計 近地顕著
1-12月 耐震 耐震 乙	10倍を10/14に20倍に変更 (T=60s)	5月 25-26日 耐震・教室 微動計 近地顕著
1-6月 石巻 微動計		6月 9-10日 一つ橋 微動計 近地顕著
1905年		6月 27-28日 教室 微動計 2成分 近地顕著
10-12月 京都 微動計	7・8・9月は枚数少ない	8月 11-12日 一つ橋・教室 微動計 近地顕著
1-6月 教室 上下動計	3・4月なし (設置時の検定記録有)	9月 13-14日 八丈島 微動計 近地顕著
1-12月 石巻 微動計	6/2瀬戸内海 (記象紙破損多し)	11月 2-3日 耐震 微動計 近地顕著
1906年		12月 7-8日 教室・耐震 微動計 近地顕著
教室 1号・2号他		1909年
1-12月 石巻 微動計		3月 13-14日 宮古 微動計×60 近地顕著
2-12月 教室 簡微×200 (T=5s)		3月 22-23日 耐震・教室 甲・1号微動計 近地顕著
		教室 簡微×500

資料 1. (つづき)

3月 29-30日 教室 簡微×500	近地顕著	8月 16-17日 教室・耐震 3号・微動計	フィリピン
3月 30-31日 教室 簡微×500	近地顕著	8月 21-22日 教室 簡微×100倍	近地顕著
4月 2-3日 東京?	近地顕著	9月 6-7日 教室 新潟行微動計	近地顕著
4月 5-6日 教室 簡微×500	近地顕著	9月 15-16日 耐震・教室 微動計・教室3号	近地顕著
4月 14-15日 教室 1号・3号・微動計	遠震 (台湾地震)	9月 17-18日 微動計×200	遠震顕著
5月 24-25日 計器不詳	近地顕著	9月 19-20日 和歌山 微動計×120	近地顕著
6月 11-12日 計器不詳	近地顕著	9月 29-30日 浅間 (湯の平) 微動計	群発
8月 24-25日 教室 簡微×500	近地顕著	11月 8-9日 耐震 1号×10	近地顕著
9月 16-17日 耐震・宮古 微動計×60	近地顕著	1907年	
12月 09-10日 教室 簡微×500	近地顕著	3月 11-12日	
1910年			
2月 2-3日 教室・耐震 微動計×120	近地顕著	5月 4-5日	
2月 12-13日 耐震・八丈島 微動計	大連行	11月 20-21日 本郷 傾斜計×20・ウェーハルト	武藏南部
3月 9-10日 筑波 微動計		1-12月 本郷 Z×20	
5月 9-10日 教室 微動計×100		1908年	
5月 10-11日 教室 微動計×100		8月, 9月, 12月 伊豆大島 微動計×30, 簡微×100	
5月 12-13日 教室 簡微×500		1-12月 耐震 微動計	
5月 12-13日 教室 ハワイ 行微動計		1月, 2月, 5-12月 教室 微動計	1-2月不良
5月 22-23日 教室 カラフト行微動計		1月 1-17日 教室 微動計	
6月 9-10日 八丈島 微動計		1-12月 耐震 微動計 1号	
6月 28-29日 水沢・教室 微動計×100, 微動計	近地顕著	1909年	
9月 1-2日 耐震 甲号・微動計	遠震 (台湾地震)	3月 22-23日	近地顕著
9月 26-27日 耐震・教室 微動計×100	近地顕著	7月 2-3日 一ツ橋・教室 地動計・教室2号 A×1.5	
大阪行 微動計			
10月 30-31日 耐震 微動計×120	近地顕著	1月, 12月 伊豆大島 地動計	
11月 27-28日 耐震 微動計×120		1月, 8月 伊豆大島 微動計×100	
大阪行 微動計			
12月 10-11日 教室 1号×30	遠震顕著	8月 八丈島 微動計	
1911年			
2月 18-19日 耐震・教室 微動計・1号・3号	パミール高原	1-12月 教室 簡微×500	地震数個記録良
3月 11-12日 教室 Z×10	近地顕著	1-12月 教室 Z×30	7/3顕著
3月 14-15日 微動計×20	近地顕著	1910年	
6月 15-16日 耐震 ×30 地動計・1号×10	奄美大島	1-12月 一ツ橋・教室・耐震 微動計・普通地震計・教室1・2・3号・微動計	
新潟行微動計×100			
7月 12-13日 長崎行微動計	遠震顕著	教室上下動・簡微×500, 耐震甲・耐微×120	
8月 12-13日 浅間 微動計×120	近地顕著	1911年	
		1-12月 教室 微動計	11/5, 11/8 近地
		1-12月 教室 Z×10	近地顕著

資料 1. (つづき)

1-12月 教室 3号×10	7/12,8/16 遠震	1913年
1-12月 教室 1号×30		2月 普通地震計
1月 5日-3月 3日 教室 簡微	(浅間に移転) 教室中止	1-2月 一ツ橋 微動計
1-12月 一ツ橋 微動計	遠震・近地	1-2月 一ツ橋 地動計 計器室類焼中止
4月 15-28日 西湖 微動計×100	臨時観測	1-8月 教室 簡微×100
6-10月 浅間 微動計・簡微		2/1 東京湾,2/20 頭,3/2,3/3,3/14,3/23 の各近地,4/1
6月 23日 鹿児島 微動計		4/7 稍頭,5/21,6/6 近地
1-12月 奄美大島名瀬測候所 地動計×20	2/23 琉球	1-12月 教室 普通地震計
1-12月 八丈島 微動計		1-12月 教室 1号 ×30
9月 16日 耐震・教室 甲・乙・耐微動計 教室 1号・2号 教室簡微	10/23迄	4/7 稍顯著,5/18 遠震,5/29 近地, P 初動 62mm 10/11 近地W振幅,135mm,10/24 遠震,11/10 遠震
8月 20-22日 一ツ橋 微動計		1-12月 耐震 微動計×120
11月 5-6日 大阪測候所 微動計×120		3/23 遠震,4/7 遠震顯著,5/18 千島 P.L 相まで良好 5/2,近地顯著,6/11,7/12,8/15 遠震,10/12 P 相明瞭
1911年		12/15 近地顯著
1-12月 教室 簡微×100 3/11 東京顯著,3/14,6/15,8/16,9/6 各顯著		1-12月 耐震 微動計 EW×120
1-12月 耐震 微動計×120		1/1 近地顯著 W 振幅,135mm,2/1 房総沖W振幅 95mm 2/20 近地 W 振幅 190mm,3/23 遠震 W 震巾 190mm,4/7,4/8
1/7 遠震顯著,2/23,3/14,3/30 近地,4/10 浅間噴火		4/12 近地顯著,4/13 遠震
4/17 近地,7/12 遠震顯著 (記録良好)		1-12月 教室 2号 EN,強震計×1,強震計×2, 教室傾斜計
11/8 近地 (記録良好)		6月 15日 耐震 微動計×120 喜界島地震 大阪・福岡・神戸・多度津 喜界島地震 コピー記録
9-10月 耐震・教室 微動計・1号・2号 耐・甲・乙・簡微		4月 2日 耐震・教室 3号,微動計 九州地方 M7.0
6月 15日 耐震 微動計×120	喜界島地震	4月 24日 遠震顯著
12月 6日 教室 上下動	近地 顕著	8月 7日 遠震顯著
12月 16日 教室 1号・2号	遠震	8月 27日 耐震 微動計 NS×120
8月 14日	遠震顯著	10月 18日 耐震 微動計 EW×120
1912年		1914年
1月 31日 教室・耐震 3号・耐微×120		5-10月 浅間 微動計×100 地震数個
1-12月 耐震 1号×10	遠震・近地数個	1-12月 耐震 微動計 NS×120
11-12月 土中室 傾斜計		1/8 関東,2/9 関東,6/20,6/25,8/4,8/14,10/3,10/23 各遠震著 11/24 近地顯著, 11/28 遠震大顕著 W 振幅 240mm
12月 1日 教室 2号 B		1-12月 教室 3号 NS×10 11/24 有感顯著
1-12月 一ツ橋 微動計・普通地震計		6-12月 教室 簡微×100 倍 10月土台工事始まる
1-12月 教室 1号・2号・3号,2号 B,微動計×200,×300 簡微×100,普通,今村強震計		1-10月
耐震 耐甲・乙・微動計,耐上下		5月 26日 土中室 Z×20 遠震顯著
1月 26日 一ツ橋・耐震・教室 11種地震計	顕著	1-12月 土中室 傾斜計
12月 8日 耐震・教室 耐甲・乙・微動計,教室・1・3号・簡微	秋田強震	

資料 1. (つづき)

1-12月 教室 1号 EW×30	記象紙不良	上下動記録良好
1-5月 教室	強震計	1-12月 耐震 微動計×120 紙質悪し
1-12月 耐震 1号 EW×10		1-12月 一ツ橋 1・2・3・5・6・7号
1-12月 一ツ橋 微動計・強震計		顕著, 稍顕著, 有感, 遠震多数, 記録良好
10-12月 (台湾?) 古里 簡微		1-12月 教室 3号×10 9月は2枚のみ
3月 14日 耐震・一ツ橋 1号・地動計		1-12月 教室 1号×30 4/24有感, 7/2顕著
秋田強震 (一部仙北郡役所観測)		5-7月 浅間湯平 微動計
教室 1号・教室 2号 A・教室 2号 B, 耐震, 微動計 EN		3-12月 耐震 1号×10
1-12月 耐震 1号×10		1-12月 本部 傾斜試験器 9月無, 3-4日置きの観測
7月 12日 教室 2号, 普通地震計		1-11月 土中室 傾斜計 4-5日置きの観測
1月 8日 地震計不詳	関東有感顕著	1-11月 八丈島 微動計×150 1-4月の記録は大破
2月 5日 地震計不詳	顕著	1-12月 一ツ橋 1号×100
3月 5日 地震計不詳	顕著	5-7月 浅間 簡微
1915年		
1-11月 一ツ橋 1号・2号・3号・5号		5-10月 浅間湯平 微動計
教室 普通地震計		1-12月 一ツ橋 2号×100
4月 4日 地震計不詳 テスト用簡微×100		7-12月 教室 普通・傾斜計
1月 台湾		2月 22日 教室 簡微 顕著
10月 8日 地震計不詳	M:7 近地	4月 14日 教室 簡微・普通地震計
10月 31日 本郷 上下動	M7.5 近地	1月 1日 土中室 Z×20 遠震
一ツ橋 1号・2号・3号・6号強震計		2月 22日 土中室 上下動 近地
11月 1日 一ツ橋 1号・2号・3号・5号	M:7 近地	3月 30日 各種地震計
11月 16日 一ツ橋 2号・5号	M:7.1 近地	4月 24日
11月 17日 一ツ橋 1号・3号・6号強震計×1		6月 8日
教室 普通地震計		8月 26日
5月 1日 土中室 上下動	遠震大	10月 7日
1月 29日 各種地震計		10月 25日
3月 29日 各種地震計		12月 13日
5月 3日 各種地震計		12月 20日
11月 1日 地震計不詳 宮城県沖 M7.5, 6.7, 7.0		1-8月 一ツ橋 各種地震計 4/21顕著, 8/29遠震顕著
教室・耐震 各種地震計	顕著・稍顕著多	3-12月 八丈島 微動計×150
1-12月 教室 各種地震計	11月顕著地震多, 7月2山北	1-12月 一ツ橋 1号 EW×100
1-12月 各種地震計混在	11月顕著あり	1-12月 一ツ橋 2号 NS×100
1-12月 耐震 微動計×120	1/5 遠震, 4/6, 6/6 遠震, 7/8, 11/4	9月 15日 田中館大震計 強震 (房総南東沖)
1-12月 一ツ橋 1号・2号・3号・5号・6号・7号		1-5月 耐震 微動計 EW×120 1/1, 1/13, 2/1 遠震
	1/6, 3/8, 3/12, 3/18 顕著, 4/24, 5/1, 6/4, 6/20, 7/3, 7/8	5-12月 耐震 微動計 EW×120

資料 1. (つづき)

1-12月 耐震 微動計 NS×120	8/28 台湾激震	6月 26日 教室 強震計×2	山梨県東部
1-6月 一つ橋 1号・2号・3号・5号・6号		1-12月 耐震 微動計 NS×120	
1/2遠震の3号良好,1/12大震強震,2/21遠震,4/27皇后が上		9月 24日 一つ橋 1号・2号・5号	
野行幸時一つ橋帝大横を馬車で通過その振動を記す		浅間 微動計	
1-12月 土中室 上下動		11月 10日 教室・耐震・土中室	
4-12月 土中室 傾斜計		1号・3号・耐 1号・耐微動計・土中上下	大町地震
1-12月 教室 簡微×100	11/24 遠震 PS 良好	2月 13日 土中室 Z×20	遠震顯著
耐震 1号 EW×10	11/26 遠震 PS 良好	8月 15日 土中室 Z×20	シダナオ島
土中室 上下動		9月 7日 土中室 Z×20	遠震顯著
1-12月 教室 簡微×100,×300,2号A.,2号B,強震計,2倍強震計		1-12月 教室 強震計×1,今村強震計×2	
1-11月 教室 2倍強震計,2号B		11/11 大町激震,6/26 山梨県東部,7/26 鹿島灘,11/18 有感	
1-12月 教室・一つ橋・耐震混合	4/21 近地顯著	1-12月 教室 簡微×100,×300	
1-8月 教室・耐震混合		1-6月 教室・耐震混合	11/18 エトロフ沖M7.8
5-10月 浅間 微動計×200	10/31 遠震大	1-6月 耐震 微動計 EN×120	
7-12月 一つ橋 1号・2号・3号・5号・強震計	8/21 近地顯著,9/15 近地,10/31 遠震大	7-12月 耐震 微動計 EN×120	10/28 遠震顯著
7-12月 教室・耐震 傾斜計,教室普通,教室×2		1-12月 教室 微動計	9/7 遠震顯著
内容 (7月2枚, 10月11枚 12月4枚)		1-12月 教室 簡微EN×300,微動EN×300	長尺のため3枚に切断
		1-12月 教室 簡微×300,微動計×300	

1917年

1-10月 普通地震計 Z×10,EN×5		9/8 エトロフ島 M7.9, クナシリ島 M7.8
5月 17日 耐震 微 EN×120,耐 1号・教 1号・強震計	静岡地震 M6.3	
1月 30日 土中室 上下動	1/30,6/26 遠震大	5-10月 浅間 微動計×150
1-12月 不詳		7/3 遠震顯著
1-12月 八丈島 微動計 EW×150		1-12月 一つ橋 1号・2号・3号・5号・6号
1月,10-12月 耐震 微動計 EN		1月接着,日時不記入あり
1-4月 教室 簡微×300	1/14 軍艦筑波爆発 (東京湾)	1-12月 一つ橋 1号・2号・3号・5号・6号・7号
3-12月 教室 簡微×300	1/14 の振動を観測	1/31 近地,2/12 遠震,7/3, 7/8 遠震,9/7 遠震,11/7 近地

2-5月 箱根宮の下姥子 微動計 EW×100,Z×50-30

1-12月 一つ橋 1号・2号・3号・5号	欠測日多
7-10月 耐震 微動計 EN×120	1/14
1-12月 教室・耐震 1号・3号・耐上下	5/2 遠震顯著記録良好
1-7月 耐震 微動計 EN×120	
1-10月 教室系	
1-12月 教室系・耐震系全部	
1-12月 教室系全部	

1918年

1919年

8月 15日 一つ橋 1号・2号	
耐震 1号×10	
9月 2日 耐震 微動計 EW×120	
9月 24日 耐震 微動計 EW×120	
4月 30日 土中室 上下動	遠震
8月 3日 土中室 上下動	近地
3-12月 教室 新式強震計	
1-12月 教室 簡微×100	8/2-4 有感顯著

資料1. (つづき)

簡微×300	各月枚数少ない	1-12月 一ツ橋 全種地震計	794枚
6-12月 一ツ橋		4/17 竜ヶ崎,3/3 近地,12/8 本震	
1-12月 一ツ橋 1号・2号・3号・4号・5号		1-12月 教室・耐震 1号,3号・耐1号	309枚
1/1 遠震,1/23 近地,4/29 遠震顯著		1-12月 耐震 微動計 EN×120	482枚
1-12月 耐震 微動計 EN×120	前半枚数少ない	1-12月 教室・耐震・地方	705枚 (含竜ヶ崎)
1-12月 教室・耐震 1号・3号・耐1号	495枚	5-10月 浅間 微動計×150,Z×20,微動計×100	620枚
[1919年]		1-12月 筑波 微動計 EN×120	478枚
教室・耐震・土中室	38枚	[1922年]	
[1914年-1925年]		10月 24日 土中室 Z×20	千島列島
教室・耐震混合	80枚	教室・耐震混合	顯著
[1920年]		4月 26日 田中館大震計 3成分	浦賀海峽V
10月 18日 耐震 微動計×120	近地顯著	1-12月 一ツ橋 全地震計	
5月 12日 土中室 Z×20	近地	1-12月 土中室 傾斜計	87枚 (3-5日の取替)
6月 5日 土中室 Z×20	台湾	1-12月 一ツ橋 1号・2号・3号・4号	467枚
12月 16日 土中室 Z×20	遠震 (中国)	1-12月 一ツ橋 微動計 EW×100	482枚
[1920年]		1-12月 一ツ橋・教室・耐震・地方	456枚,4/26 彦根強震
教室・耐震	顯著	1-12月 教室・耐震 1号,3号・耐1号	500枚
5月 8日 浅間 普通地震計		1-12月 教室 簡微・微動計×30倍	502枚
5月 13日 浅間 普通地震計		1-10月 筑波 微動計 1号・2号	343枚
1-12月 教室強震計×2 強震計,教室2号A・2号B		1-12月 教室 ×2 強・強震計・2号A・2号B	100枚
1-5月 一ツ橋 全地震計	5/13 近地顯著	[1923年]	
6-12月 一ツ橋 全地震計		1月 1日 教室 ×2 強	鹿島灘 M7.5
1-12月 教室・耐震 1号・3号・耐震1号	426枚	1月 14日 土中室 Z×20	強震 (茨城南西部,M6.1)
1-12月 教室 簡微 EN×300	494枚	6月 1日 土中室 Z×20	顯著 (茨城南西部,M7.2)
6-11月 耐震 微動計	282枚	12月 27日 土中室 Z×20	近地,遠震
1-12月 教室・耐震 微動計,簡微×300,教3号混合・耐1号	568枚	1-2月 一ツ橋 全地震計	2/3 顯著
1月秋田地震の余震		3-6月 一ツ橋 全地震計	6/2,6/6 顯著
1-12月 土中室 傾斜計	87枚 (3-5日の取替)	9月 1日 田中館大震計 3成分	関東地震 (相模灘,VI M7.9)
[1921年]		1-12月 耐震・教室・土中室・一ツ橋・混合	
12月 8日 教室 ×2 強・教室強	近地顯著	耐微EN×120,土中上下	1641枚 (9月は284枚)
3月 3日 土中室 Z×20	近地	1-12月 教室・耐震 微動計・簡微・強震計	609枚
9月 11日 土中室 Z×20	遠震	11-12月 教室 簡微×300	362枚
教室・耐震各種	顯著	教室 普通地震計 3成分	35枚
1-12月 教室 ×2 強,教室強,2号A・2号B		教室 2号A・2号B×15	68枚
1-12月 一ツ橋 各種		10-12月 教室 簡微,教室 3号	167枚
1-12月 土中室 傾斜計	97枚 (3-5日の交換)	土中室 傾斜計×15	67枚

資料 1. (つづき)

11-12月 教室・耐震 1号,3号・耐1号	17枚	1/14,4/14,5/21,5/23,6/3,6/26,7/3,9/27,11/18,12/12
10-12月 東京府下 微動計・簡微×30,×50		12/27,12/28 各稍顯著あり
東京府下 31 地点の余震観測分の合計 345 枚	教室 普通地震計 3 成分	51 枚
(観測点名一覧 表1に別記)		
11月 5日 田中館大震計 3成分	相模中部Ⅲ	5月 23日 教室・土中室・耐震
11月 23日 田中館大震計 3成分	鎌倉付近Ⅲ	教室 2号,教1号,教2号B,×2 強震,簡微,微動 土中上下動・耐1号,耐微動計
[1924年]		
8月 14日 教室 ×2 強震計	近地顯著	但馬地震抜き取り記録 (含顯著)
8月 25日 教室 ×2 強震計	近地顯著	12月 11日 田中館強震計 3成分 強) 近地
9月 18日 教室 ×2 強震計	近地顯著	教室 2号A×1.5,2号B×1.5 72枚
1月 14日 土中室 上下動	近地顯著	土中室 傾斜計 42枚
4月 14日 土中室 上下動	遠震顯著 (シダナオ沖)	1-3月 耐震 ウィーヘルト3成分,EN×160,Z×119 149枚
5月 31日 土中室 上下動	稍顯著 (最良の記録)	設置方角 N45° E
8月 14日 土中室 上下動	近地顯著	1-12月 教室・耐震・土中室混合 470枚
8月 25日 土中室 上下動	近地顯著	5/23 但馬地震,6/29 北米地震 (振幅小)
7月 3日 教室 1号,2号A,2号B,3号,簡微 EW×50,×2 強震計		10-12月 教室 ウィーヘルト 213枚,11/6 顯著
1月 15日 田中館強震計 3成分	丹沢地震 M7.3	1-12月 耐震 微動計 EWN×120 598枚
1924年,1925年,1926年,1927年,1928年,1929年,1930年		
各種地震計一括抜取り記録 (含顯著)		
[1924年]		
1-12月 教室 強震計×1	344枚	4-12月 教室・耐震 微13年式×50,教微×120・耐微×120 365枚,
1号,2号,2号A,2号B	64枚	8/19 遠震顯著
1-7月 教室・耐震 1号,3号・耐1号	260枚	1-12月 教室・耐震 ×2 強震・教室1号・2号 374枚
教室・耐震・土中室混合	8/28 田丸式地震計記象発見	1-12月 教室・耐震 耐ウィーヘルト3成分 484枚
1-3月 教室 1・3号・簡微	233枚	4/19 顯著良好,5/25,5/27 顯著
1-12月教室・耐震・土中室混合	1,098枚 (含丹沢地震) 顯著	1-12月 耐震 微 EN×120 598枚
8-12月教室・耐震 1号,3号・耐1号	290枚	5/20, 5/22 遠震顯著,11/13 遠震大
1-5月 耐震 微動計 EN×120	198枚,3/15 遠震顯著	1-11月 教室・耐震・土中・地方混合
11-12月 耐震 ウィーヘルト3成分	56枚	1/9,1/28,2/2,3/6,3/9,3/22,4/18,4/25,5/23 但馬地震
8-12月 田丸式	95枚	6/29,7/3,7/15,7/18,8/7,8/19,8/27,9/10,9/12,9/13
1-12月 教室 簡微 EN×30	1,446枚	10/7,10/13
8月,10月無,5/10, 5/11,5/28,5/31,12/27 遠震顯著		教室 普通地震計 23枚
6-12月 耐震 微動計 EN×120	317枚	5月 23日 土中室 Z×20 但馬地震
8/30 遠震顯著,12/27 北海道東方沖,12/28 遠震		1-12月 教室・耐震 教1号 EW×15,教3号 NS×10 695枚
6-12月 教室 簡微 EN×5	142枚	耐1号 EW×10
1-12月 教室・耐震・土中室・混合		8/26 集中豪雨で耐震 40cm,土中室 65cm,浸水

資料 1. (つづき)

1926年

8月3日 土中室・教室・耐震 Z×20

近地顕著,抜き取り

田中館強震計3成分

千葉県中部M6.3

教14年簡微EN×50,耐微EW×120

教室 普通地震計 EN×5,Z×30

11枚

教2A号×1.5・教2号B×1.5

76枚

1-10月 教室・耐震・土中室・地方混合

1/11,1/18,1/24,3/11,3/27,4/12,4/18,4/30,6/286/29,7/1

7/12,7/13,8/3,9/10,10/26 近地顕著

1-12月 教室・耐震・土中室混合

658枚

1/10顕著,2/4 青森強震,3/4 遠震,3/27 ソロモン群島,4/1 近地顕著,4/12 遠震顕著,4/18 顕著,4/27 東京湾,4/30 顕著

1-12月 耐震 耐微EN×120

453枚

5/7 顕著,8/7 顕著,9/10 遠震,9/16 遠震大,10/3 近地,10/13 遠震,10/26 遠震

1-12月 教室 14簡微EN×50

288枚

簡微EN×120,1号EW×15

2/4 近地,5/7 遠震,6/14 近地,6/29 遠震,10/3 遠震,11/5 近地

12/5 近地

1-12月 教室・耐震 1号EW×15,2号NS×10

453枚

耐1号EW×10

6/29 顕著

1-12月 教室 13年微動計NS×120

208枚

1/24 遠震,4/1 近地,4/6 遠震,4/12 遠震,4/30 近地,5/7 遠震
6/21 遠震,7/10 近地,7/26 遠震,8/9 遠震,10/3 近地,10/13 遠震,10/26 遠震

1-12月 教室・耐震 ウィヘルトEN×160,Z×119

680枚

1/10,1/24,2/21,4/1,4/18,4/30,5/18,5/26,6/14,6/26,6/28
6/29,7/10,7/26,8/4,10/2,10/3,11/11,以上近地

1-12月 教室 簡微EN×300 (Et=7.7s,Nt=7.0s)

2,043枚

1/24 近地,4/1 遠震,4/6 遠震,5/26 遠震,6/21 遠震,10/3 近地

1/11 近地 (5・6・7・8月は湿気で損傷大)

土中室 傾斜計

31枚

7-8月 基線尺室内 14年式簡微2号EN×50

1-12月 教室 各種混合抜き取り

126枚

1/24 遠震,4/12 遠震,5/18 近地,6/26 近地遠震,6/29 遠震

7/10 近地,8/2 遠震,8/7 近地,9/7 遠震,10/26 遠震

12/12 近地

1927年

8月3日 耐震 上下動計×30

千葉県中部 M6.3

1-8月 土中室 Z×20,傾斜計

26枚

1/17 近地,5/22 遠震,8/5 遠震,8/20 遠震

1-12月 教室・耐震・土中室・地方混合

1/17,3/7 丹後地震,3/31,7/27,8/5,10/25,11/4,12/28,12/31

1-12月 教室・耐震混合

3/6-7 丹後地震,4/27,5/22,6/3 遠震,7/23 近地,7/27 近地

7/30 近地,8/5 近地,8/18 遠震,8/21 近地,8/29 近地

1-12月 教室 14年式簡微EN×50 223枚 (8・9・10・11月欠)

1/17 近地,5/10 遠震,6/3 遠震

1-12月 教室・耐震混合

737枚

6/3 遠震,8/20 遠震,8/23 遠震,8/24 近地,12/28 遠震

1-12月 耐震 微動EN×120

607枚

2/16 遠震,3/2 遠震,3/31 近地,5/16 遠震 5/19 近地

10/25 近地,11/13-14 遠震,11/16 遠震,11/28 遠震

教室 普通地震計

16枚

1-12月 教室 13年式微動計NS×120

181枚

2/3 遠震,5/16 遠震

1-12月 教室 簡微EN×300

1,871枚

1/9 近地,1/17 遠震,2/16 遠震,4/27 遠震顕著 (完全記録)

5/16 遠震,6/3 遠震,7/12 遠震,8/18 遠震,8/29 遠震

1-12月 ウィヘルトENZ

721枚

1928年

土中室 Z×20

3/9 遠震,5/27 遠震,12/1 遠震

1月1日 田中館大震計3成分

有感III

5月21日 田中館大震計3成分

東京湾北部 M6.2

1-12月 教室・耐震・土中室・地方混合

1/1,3/9,5/20,5/21,5/22,5/27,5/28,12/1,12/19

1-12月 土中室 傾斜計

26枚

1-12月 教室・耐震混合

902枚

5/27 岩手沖 M7.0,12/1 チリM8,12/13,12/19,12/21

1-12月 教室 13年式・15年式,2号A・2号B

661枚

土中室 15年式

3/15 三河島花火工場爆発記録

資料 1. (つづき)

1-12月 教室 14年簡微 EN×50	294枚	1-12月 教室 1号 EW×15,教3号 NS×10	607枚
三河島花火工場振動記録		地震数個あるのみ	
1-12月 耐震 丙EW×5,丁NS×1.5	532枚	1-12月 教室 簡微 EN×300	1,466枚
1-12月 教室 1号 EW×15,3号 NS×10	668枚	1/12,1/13,3/10,3/14,3/15,3/31,5/26,6/24,6/26,6/27	
耐震 1号 EW×10		7/7,7/14,8/29,10/5,11/15	
1/24 近地,3/8 近地,3/16 遠震,9/22 遠震,11/28 遠震,12/7 遠震			
1-12月 耐震 微 EN×120	582枚	1930年	
1/26 遠震,2/3 近地,2/11 近地,5/14 遠震,9/22 遠震,12/28 遠震		11-12月 土中室 Z×20	11/25 近地大,12/3 遠震
1-12月 ウィヘルトENZ	364枚	秩父・東金・清澄混合	
1/16,1/24,5/20,5/19,5/27,5/28,5/31,6/1,6/3 その他 22回		3-11月 教室・耐震・土中室・地方混合	
1-12月 教室 簡微 EN×300	1,990枚	1/10-11,3/23,4/30,5/1,5/31,6/1,7/2,8/17,11/25 北伊豆	
1/26 遠震,2/3 近地		1-12月 教室・耐震・土中室・地方混合	769枚
1929年		2/7,3/9 近地,3/22,4/1,4/23,5/1 九十九里,5/4,5/5 遠震	
5-12月 土中室 Z×20	5/21 遠震,7/26 近地,12/17 遠震	5/16 近地顕,5/23 近地,6/1 那珂川,6/10 遠震,7/2,7/22	
7月 27日 田中館大震計 3成分	山梨県東部 M6.3	8/17-20 近地,遠震,10/1,10/16,10/24 遠震大	
1-11月 教室・耐震・土中室・地方混合		3-12月 由比ヶ浜 14年式×50・13年×50・Z×10・強震×2	
1/2,1/8,1/9,1/12,1/21,2/27,3/7,3/21,4/14-18,4/23,5/21		清澄 14年式×50,網代 14年式×25	
6/2,6/13,6/24,6/26,7/7,7/26,7/27,9/17,11/18		東金 14年式×50,伊東 14年式×25	
1-12月 教室・耐震・土中室全混合	1,235枚	三崎 微動×120	49枚,伊東群発のため地震多数
1/12 遠震,1/17 遠震,3/7 遠震,3/18 遠震,3/27 近地, 4/15		1-12月 耐震 丙×5,丁×1.5	593枚
4/17,4/23 近地,5/1 遠震,5/21 遠震大,5/26 遠震, 5/3		4/26 アリュー シヤン	
5/30 遠震,6/2 近地,6/12 遠震,6/13 遠震,近地, 6/16 遠震		1-12月 教室・耐震・土中室 微動 EN×120,教3号,上下	648枚
6/26 近地顕,7/8 遠震顕,7/26 近地多数,8/16 近地		5/1 近地,5/5 遠震大,5/6,5/9-10 近地 5/9 小地震多数	
11/15,11/17,11/18 遠震		5/12-15 近地多,5/19 遠震,5/23 近地大, 7/2,8/17-19 近地	
1-12月 耐震 微動計 EN×120	516枚	9/21 遠震顕,10/8,10/24 遠震,11/9 遠震,11/29	
3/9 遠震良好,3/31 近地		1-12月 教室・土中室 15年式	297枚,12/13 近地
1-12月 教室 14年式・EN×50	296枚	1-12月 教室 13年微動 EW×120	170枚
土中室 15年式EN×50,Z×28	3/31 遠震顕,5/30 遠震	4/23 遠震,5/6 遠震,6/11 遠震,9/21 遠震,10/28 遠震	
7-12月 教室 微1号・2号, 15年式	448枚	9月- 伊東牧野邸	204枚
7/26,7/28,8/28,8/28,11/15,11/17,12/9,12/17 遠震大		1-12月 教室 今村簡微 1号 EN×50	249枚
1-12月 ウィヘルトENZ	402枚, 4/24,4/26 顕著	5/8-9 地震 17回, 5/9-10 地震 16回	
1-12月 教室 13年微 NS×120	162枚	6-12月 土中室 上下動 3号×7.5	171枚,6/7 日開始
1/16,3/9,3/31 遠震顕,5/1		1930年	
1-11月 土中室 下動 3号×7	219枚	1-12月 教室・耐震 ウィヘルトEN×200,Z×119	436枚
1-12月 耐震 丙×5・耐丁×1.5	552枚	1/5,2/1,2/2,2/20,2/28,3/1,3/8,3/9,3/12,3/14,3/15, 3/21	
低倍のため地震数個のみ		3/26,4/1,4/9,5/9,5/12,5/13,5/14,5/15 群発, 5/20,5/28	
		6/25,6/29 顕著,7/10,9/19 顕著,10/12,10/16,10/24 顕著	

資料 1. (つづき)

1-12月 教室・耐震 教1号 EW×15,教3号 NS×10 甲EW×15,乙NS×20,丙EW×5,耐微EN×120 537枚,2/7近地	1-12月 耐震・教室 微動EN×120,教1号・教3号 1/15遠震,1/27遠震顯著,1/28遠震カムチャツカ 5/12遠震,7/12遠震,8/5近地	549枚
1-12月 教室 簡微EN×300 3/12,3/15,3/22,3/26顯著,5/1,5/5,5/9,7/22,9/26 10/24遠震顯著,12/3遠震顯著,12/20,12/21 12/29近地顯著	1-12月 教室 今村14年式簡微,1号EN×50 4・5・6月欠測多 1-12月耐震・土中室 丙EW×5,土中室Z 耐丁NS×1.5	239枚 572枚
[1931年]	1-12月 教室 ウィヘルトNS×200, Z×119 1/30近地,2/20近地,6/2近地,6/9近地	205枚
8月 土中室 Z×20 8/10遠震位相記録良好,8/19遠震 6月17日 田中館大震計3成分 埼玉県南部M6.3 2-12月 教室・耐震・土中室・地方混合 2/2,6/2高山,6/29,8/19,9/6,9/21西埼玉地震,11/2,12/7 1-12月 教室 簡微EN×300 1,008枚 1/9,1/28遠震,2/16,3/9,3/11,3/15,3/19,3/28,3/29 5/11,6/2,6/9,6/11,6/13,6/23,10/2,11/1	9/21日教室 田中館大震計3成分 埼玉県西部M6.9	
[1932年]	1-12月教室・耐震・土中室混合 989枚 1/29遠震,3/19遠震,3/26遠震,4/4近地,4/11近地 4/26,近地,5/5近地,5/11遠震,5/14Molucca passage M8 5/15近地,5/25中国甘肃省,6/2近地,6/16近地 6/21近地顯著,9/3近地,9/23近地顯著,9/30遠震 10/16近地,11/13近地顯著,11/26近地,12/1近地顯著 12/4遠震,12/25遠震顯著	
1-12月 教室・耐震・土中室・地方混合 1,397枚 1/15遠震,1/16メキシコ顯著,1/28ビルマ顯著 1/29マリアナ諸島顯著,2/3遠震,2/16遠震,3/6近地 3/9近地顯著,3/11遠震,3/19遠震,3/28遠震,3/29近地 5/14遠震顯著,5/29遠震顯著,6/9近地,6/29近地 7/26近地,8/7遠震,8/10遠震,8/17近地,8/18遠震顯著 8/27パキスタン顯著,9/8近地,9/9遠震,9/18近地 9/20西埼玉,9/21近地顯著,9/25遠震,9/27近地 9/28近地,10/2近地,10/3近地,遠震記録良好 10/9遠震,10/13近地,11/1近地,11/2遠震顯著 11/3岩手県中部顯著,11/12近地2回	1-12月 耐震 微動EN×120 558枚 土中室 Z×20,3号Z×7.5 1/9近地,1/29近地,5/28遠震大,8/22近地,10/25近地 1-12月 耐震 ウィヘルトZ×119 201枚 教室 ウィヘルトEN×160 1-12月 土中室 Z×20,3号Z×7.5 278枚,6-12月は欠多 1-12月 土中室 15年式EN×50・Z×28 383枚 教15年式EN×50,教3NS×10 教今村簡微1号EN×50	
1-12月 土中室 Z×7.5 251枚,7・8月記象紙損傷大 1-12月 教室 13年微NS×120 167枚 3/15近地顯著,3/28遠震,4/9近地,8/5遠震,8/7遠震 11/1遠震顯著	1-12月 教室 今村簡微1号EN×50 224枚 5-9月 教室 微動計1号・2号,15年簡単微動計 315枚 1-12月 耐震 耐甲EW×15,耐乙NS×20 615枚 耐丙EW×5,耐丁×1.5	
1-12月 教室 15年式EN×50,Z×28 393枚 教15年式は1-6月のみ 土中室 15年EN×50,Z×28 9/10遠震	1-12月 教室 1号EW×15,教3号NS×10 532枚 1-12月 教室 簡微EN×300 1,048枚 1/29遠震,2/19遠震,3/19遠震,5/28遠震,6/2遠震 6/3遠震,6/29遠震,7/10遠震,9/3遠震顯著,11/13遠震 12/25遠震顯著	
1-12月 教室 1号EW×15 488枚 教3号NS×10 低倍率のため地震数回のみ 7-12月 土中室 15年式 130枚		

資料 1. (つづき)

5・11月 教室・耐震・土中室混合	5/14,11/13	5/31 水戸付近,6/2 近地,6/3 近地,6/5 近地,6/12 近地
6月 25日 一つ橋 Z×20	近地顕著	6/15 近地,6/20 近地,6/26 近地,6/29 遠震,7/4,遠震
1933年		
1-12月 教室・耐震・土中室・鎌倉・三崎・佐倉・小山・東金		7/18 遠震,7/19 遠震,7/21 遠震,8/3 近地,8/18 近地
清澄秩父・由比浜・深川・向島・丸ノ内・筑波混合	2,834 枚	9/1 近地,9/16 近地,10/5 近地,11/8 近地,11/26 近地
三陸地震のため枚数多く2箱に収容		11/27 近地
1/3 近地,1/7 近地,1/8 近地,2/13 鹿島灘,3/3 三陸地震		1-12月 耐震 微動 EN×120 550 枚
3/11 遠震,3/13 遠震,3/18 近地,4/9 近地,4/23 近地顕著		8/11 遠震,8/13 遠震,8/24 近地,10/5 近地 (耐甲, 耐乙, 耐丙, 耐丁混入)
4/27 遠震,6/8 近地顕著,6/9 遠震,6/24 遠震位相良好		1-12月 教室・土中室 簡微 1号 EN×50 526 枚
7/11 遠震,8/25 遠震顕著,8/29 遠震顕著,9/21 北陸伏強震		土中 15 年簡微 ENZ
9/25 遠震,10/3 近地,11/20 遠震,12/4 近地,遠震顕著		1-12月 ウィヘルトEN×160,Z×119 218 枚
12/7 近地顕著		1/29 近地,6/13 近地,6/19 近地,7/26 近地,8/23 近地
1-12月 耐震 微動 ENS×120	503 枚	8/26 近地,10/5 近地,12月近地地震多
1/3 近地,1/4 近地,1/7 近地顕著,1/8 近地,13 近地		1-2・7月 土中室 Z×20
4/9 近地,5/1 近地,6/8 近地,7/12 近地,7/13 近地,7/22 近地		1/15,2/24,7/18 の3 遠震とも各位相良好
1-12月 教室・耐震・土中室混合	825 枚	1-9月 教室・耐震・土中室・地方混
2/6 近地,2/9 近地,2/20 近地,4/1 近地,4/2 近地顕著		1/31,2/2,5/31,6/3,9/1 各顕著
4/9 近地顕著,4/23 近地顕著,5/11 近地,5/25 近地,6/2 近地		1935年
6/3 近地,6/3 遠震,6/13 近地,7/9 近地,7/11 近地,7/15 近地		7月 土中室 Z×20 7/11 静岡強震記録良好
7/20 近地,8/25 遠震顕著,8/29 近地,9/2 近地顕著,9/6 近地		1-12月 教室・耐震・土中室・地方混合 2,764 枚
10/1 近地顕著,10/21 近地顕著,11/1 近地 5回		1/3 近地顕著,2/19 近地,2/23 遠震,3/2 近地,3/7 近地
11/6 近地 7回,11/7 近地,12/7 近地		3/26 近地顕著,3/31 近地顕著,4/4 近地,4/9 近地
1-12月 教室 簡微 EN×50		4/10 近地,4/12 近地,4/15 近地,4/19 近地,4/21 近地
土中室 15 年簡微 EN×50,Z×28	532 枚	5/24 遠震,5/27 遠震,5/31 パキスタン,6/3 近地,6/8 近地
1/7 近地顕著,1/8 近地,4/9 近地顕著,6/8 近地		6/14 近地,6/20 近地,6/24 遠震,6/25 近地,6/28 近地顕著
1-12月 教室 ウィヘルトEN×160, Z×119	267 枚	7/11 静岡,7/16 遠震顕著,7/19 近地,7/29 遠震,7/31 近地
1/3 近地顕著,1/4 近地,1/7 近地顕著,1/8 近地,4/9 近地顕著		8/11 近地,8/17 遠震,9/2 近地,9/4 遠震顕著,9/9 遠震顕著
3月 3日 土中室 Z×20	三陸地震と余震	9/11 近地,9/13 近地,9/16 近地,9/18 遠震顕著,近地 2回
3月 4日-11月 東京・地方混合	3/3 三陸,4/23 余震,11/11 近地	9/20 遠震顕著,9/22 近地,9/23 近地,9/24 遠震,9/29 近地
1934年		
1-12月 教室・耐震・土中室・地方	3,125 枚	10/2 近地顕著,10/11 遠震,10/12 近地顕著,10/13 近地
1/3 遠震,1/15 遠震 インドネバール M8.3,1/26 近地		10/15 近地,10/17 近地,10/18 遠震顕著,近地 5回
1/31 近地,2/2 近地,2/10 近地,2/14 遠震 M7.6		10/19 近地,11/1 遠震顕著・記録良好,12/1 遠震
2/17 近地顕著,2/21 近地,2/22 近地 2/24 遠震大,3/5 遠震		12/3 近地顕著,12/10 近地,12/15 遠震顕著
3/21 近地,4/5 近地,4/6 近地,4/11 近地,4/15 近地		1-9月 土中室 15 年式 EN×50・Z×28 379 枚
4/15 遠震,4/19 近地顕著,4/27 近地顕著,5/17 近地		今村簡微 1号 EN×50
		5/31 遠震,6/10 近地,9/4 遠震

資料 1. (つづき)

1936年

1-12月 教室・土中室 14年式・教2号A・教2号B,教強震×2
 土中15年式Z×20, ウィーヘルトENZ 683枚
 3/2 近地, 4/1 遠震, 4/8 近地, 4/27 近地, 6/25 近地顕著
 6/28 近地顕著, 6/30 近地, 8/22 遠震顕著, 8/23 近地
 9/4 近地, 9/12 近地, 9/18 遠震, 9/30 近地
 10/25 近地顕著野島崎沖, 10/29 近地, 11/2 近地顕著金華沖
 M7.7, 11/7 近地, 11/13 近地, 11/14 遠震, 11/19 近地
 11/30 近地, 12/1 遠震顕著, 12/10 近地
 12/26 近地顕著新島地震, 12/28 近地顕著

1-6月 土中室 15年・教14年

298枚

1939年

1-12月 教室・土中室 ウィーヘルトZ×119
 教14年 EN×50・土中15年 EN×50・Z×28 1,025枚
 1/10 近地顕著, 1/23 近地顕著, 1/24 近地顕著, 1/30 遠震顕著
 2/16 近地顕著, 3/9 近地顕著, 3/19 近地 5回, 4/30 遠震顕著
 5/1 男鹿地震 M7.0, 5/17 遠震顕著, 8/21 近地顕著
 8/22 近地顕著, 9/12 水海道付近, 10/10 遠震
 12/31 近地顕著

1-12月 震研地下室 微動計 H,Z

404枚, 5/1 男鹿地震有

1937年

1-12月 教室・耐震・土中室 14年 EN・耐甲・乙・土中15年
 震研地下室変位計・加速度計・速度計 1,051枚
 1/7 遠震, 1/7 近地, 2/21 近地, 2/27 近地顕著, 3/21 近地
 3/27 近地, 4/29 近地, 5/4 近地, 5/20 遠震, 5/27 近地
 7/14 近地, 7/16 近地, 7/26 近地顕著, 8/1 遠震, 8/1 近地
 8/19 近地, 9/29 近地, 10/17 近地, 10/23 遠震, 11/22 近地
 11/26 近地, 12/1 近地, 12/7 近地下妻付近, 12/10 近地
 12/16 近地
 1-12月 地震研地下室 石本式微動計 1成分 202枚
 1・2・8月 土中室 Z×20 1/7 遠震大良好, 2/21 遠震大良好

1940年

1-12月 震研地下室 微動計 H,Z 329枚 (3日巻)
 1/16 近地 7回, 11/6 近地 6回
 2-11月 震研地下室 微動計 H 166枚
 7/10 近地顕著, 7/31 顕著
 1-12月 教室・耐震・土中室 東金・小山・秩父・清澄・震研地下室 1,039枚
 ウィーヘルトH,Z, 教14年 EN×50, 教大震計 ENZ×0.5
 教2号A・教2号B×1.5, 教×2倍強震計
 土中15年 ENZ, 土中Z×20

1938年

1-12月 耐震・教室・土中室 耐甲・耐乙混合 14年・土中15年
 土中上下 830枚
 1/8 近地, 1/10 近地, 2/1 近地, 2/6 近地顕著, 2/7 近地顕著
 4/25 近地顕著, 5/12 近地, 5/19 近地, 5/23 磐城沖 M7.1
 5/28 近地, 6/3-6, 6/9-12, 6/16-19, 近地続, 7/1-2, 7/6-8
 7/20-22, 7/27-30 近地続, 8/2-4, 8/16-21, 8/29-30 近地続
 9/3-4, 9/12-13, 9/21-22 近地続, 10/4-5, 10/12-13
 10/17-19, 10/29-30 近地続, 11/5 福島県沖群発 M7.7
 11/5-12, 11/14-16, 11/22-30, 12/2-9, 12/12-23 近地連続
 1-12月 震研地下室 微動計 H,Z 312枚
 11・12月は福島県沖地震多数, 5・6・7月のZ成分なし

1941年

3-12月 震研地下室 微動計 H,Z 240枚
 震研地下室 変位計 EN 110枚
 1-12月 教室・耐震・土中室混合 939枚
 2/4 近地, 3/12 近地, 3/19 遠震, 4/25 近地, 5/9 近地
 5/17 遠震, 6/11 近地, 6/16 近地, 7/15 長野市付近 M6.2
 11/18 日向灘 M7.4, 11/8 遠震, 11/25 近地, 12/16 台湾
 1-12月 震研地下室 大型加速度計 133枚
 震研地下室 石本加速度計

1942年

1-5月 震研地下室 微動計 H,Z 127枚
 7-12月 震研地下室 微動計 H,Z 92枚

資料 1. (つづき)

1-12月 震研地下室 変位計 EN	47 枚	1/13 三河地震 M6.8, 1/16 近地, 2/10 近地顕著
1-12月 教室・耐震・土中室混合	711 枚	8/29 近地顕著, 12/28 遠震
2/18 近地, 2/21 塩屋崎沖, 3/5 近地, 3/21 小笠原深発		
3/27 近地, 4/20 近地, 8/23 近地, 9/1 近地顕著, 9/8 近地		
9/21 遠震顕著, 11/15 近地顕著, 11/26 遠震, 12/19 遠震顕著		
2/27 遠震		4/1 遠震顕著, 4/5 近地顕著, 4/18 近地顕著, 5/8 遠震 2 回
1-12月 震研地下室 大型加速度計	135 枚	7/19 近地顕著, 8/4 ドニカ, 9/12 ピルマ, 9/29 遠震顕著
石本加速度計		12/20 南海地震 M8
1942年 7月 16日		
教室地震計室から耐震家屋へ地震計を移転す。同時に廃棄された地震計多数あり これより地震研究所の管理となる		
1943年		
1-12月 震研地下室 微動計 H,Z	170 枚	1-12月 耐震・土中室・震研地下室・石本式加速度計 62 枚
変位計 EN	34 枚	耐甲 EW×15, 耐乙 NS×20, 今村強震計×2
大型加速度計・変位計	115 枚	土中上下・土中 15 年式 142 枚
1-12月 震研地下室・土中室		2/25 近地顕著, 4/14 遠震顕著, 6/14 遠震小 (ノ蓮原爆実験記録?), 10/3 近地, 11/3 近地顕著
耐甲・耐乙・ウェーハルト Z	1,821 枚	1948年
強震計×2, 耐強震計×2, 土中上下, 土中 15 年 3 成分		震研地下室 微動計? 5 枚
1/19 近地 2 回, 2/22 メキシコ, 2/28 近地, 3/4 鳥島		1-12月 耐震・土中室 耐甲・耐乙・強震計×2
3/14 鳥島灘 2 回, 4/11-12 鳥島灘 2 回, 5/25 遠震		土中上下・土中 15 年式 580 枚
6/13 遠震顕著, 6/15 近地顕著, 8/12 田島地震 M6.7		3/14 近地, 4/18 近地顕著, 5/12 近地顕著
9/10 鳥取地震 M7.4, 10/13 長野市付近地, 10/19 近地顕著		6/15 和歌山県南東部 M6.7, 6/28 福井地震 M7.3
11/6 遠震, 11/17 近地, 11/26 遠震顕著		8/7 近地顕著, 10/28 近地顕著
1944年		
1-2月 震研地下室 微動計	30 枚	1-12月 耐震・土中室・三鷹・油壺・東金・須崎・天津 747 枚
震研地下室 変位計	1 枚	耐甲・耐乙・耐丙・耐丁・土中 15 年・土中上下
1-12月 耐震・土中室	1,719 枚 (12月が 144 枚)	2/26 近地顕著, 5/21 近地顕著, 12/26 今市地震
耐甲・乙・ウェーハルト・土中上下・土中 15 年, 耐強震計×2		12/27 近地, 12/29 遠震
1/3 近地顕著, 2/1 近地顕著, 3/19 東京湾, 4/26 遠震顕著		震研地下室 微動計 13 枚
6/16 近地顕著, 7/19 近地顕著, 8/18 近地顕著		
12/7 東南海 M8, 12/8 近地顕著, 12/12		
12/19, 12/29 に近地あり		
震研地下室 大型加速度計・石本加速度計	4 枚	
1945年		
1-12月 耐震 耐甲・乙・ウェーハルト	178 枚 (3・4 月なし)	2/28 北海道顕著, 4/26 近地顕著
耐強震計×2, 土中 15 年		8/15 インド・アッサム地方 M8.6, 記録は震研彙報に発表有
1951年		
震研地下室 微動計?		8/24 近地, 9/10 千葉県東岸顕著, 10/8 遠震, 11/2 遠震顕著
		11/5 遠震顕著
		震研地下室 微動計? 90 枚

資料 1. (つづき)

1-12月 耐震・土中室・震研地下室		6/14 鹿島灘,6/23 福島県沖,7/24 利根川下流顕著
耐甲・耐乙・耐丙・耐丁・今村強・変位・速度・加速度計 731枚		7/26 徳島県劍山 M6.4,9/22 台湾東方沖,10/10 遠震
1/8 東京湾,4/14 遠震,6/5 遠震,7/11 小笠原深発		12/7 遠震
10・12月 土中室 ガリソン電磁式Z成分	24枚,印画紙記録	
1952年		1956年
1-9月 土中室 ガリソン電磁式Z成分	241枚,印画紙記録	1-12月 耐震・土中室・震研地下室 556枚
3/4,3/5,3/6 十勝沖本震余震あり		耐甲・耐乙・耐丙・耐丁・土中上下・強震計・石本微動計
1-12月 耐震・土中室・震研地下室 615枚		変位計・速度計・加速度計
耐甲・耐乙・耐丙・耐丁・土中室・強震計・変位・速度・加速度計		1/31 小笠原深発,2/9 近地,2/14 埼玉県東部
3/3 十勝沖 M8.1,3/13 深発,3/19 西太平洋遠震顕著		2/17 鳥島南方深発,4/4 大井川下流,4/26 近地,5/26 近地
5/19 近地顕著,6/19 チベット,6/22 遠震		6/9 遠震,7/9 エーゲ海,7/16 遠震,7/18 遠震,8/12 近地
7/17 吉野地震 M6.8,8/17 遠震顕著,10/26 御前崎南西		9/29 千葉県中部,9/30 余震4回,11/3 近地,11/21 仙台沖
10/26 宮古東方沖 (群発),11/4,11/29 カムチャツカ		11/29 小笠原,12/18 多摩川流域,12/21 近地,12/22 三宅島
12/6 遠震,12/24 遠震		
1953年		1957年
1-12月 耐震・土中室・震研地下室 634枚		1-12月 耐震・土中室・震研地下室 628枚
耐甲・耐乙・耐丙・耐丁・土中上下・強震計・変位計・速度計		耐甲・耐乙・耐丙・耐丁・土中上下・強震計・石本微動計
加速度計		変位計・速度計・加速度計
1/5 バイカル湖・カムチャツカ,2/2 房総中部,2/6 遠震		1/8 近地7回,2/23 台湾地震,3/11-22 遠震が7回
2/12 イラン,2/26 遠震,3/18 トルコ激震,4/4 近地顕著		4/14 遠震,5/26 トルコ,6/26 バイカル湖,M7
4/23 ニューブリテン島顕著,11/25 房総沖 M7.5,月末まで		7/28 メキシコ,9/24 ミンダナオ (耐乙記録良好)
余震あり12/7 金華山沖,12/20 近地		9/28 遠震,10/19 遠震,近地,11/10 三宅島
1954年		12/4 モンゴル (記録良好),12/18 遠震
1-12月 耐震・土中室・震研地下室 617枚		
耐甲・耐乙・耐丙・耐丁・土中上下・強震計・変位計・速度計		1958年
加速度計		1-12月 耐震・土中室・震研地下室 620枚
1/17 茨城県南西部,2/5 メキシコ,2/10 中国 M7.3		耐甲・耐乙・耐丙・耐丁・土中上下・強震計・石本微動計
2/14 東京直下,2/22 房総,2/24 千葉県北部,3/3 遠震		変位計・速度計・加速度計
3/21 インド方面,4/10 近地,5/14 岐阜県中部		2/16 金華山沖,3/10 琉球諸島顕著,4/7 近地顕著
6/5 筑波付近地,7/17・18・19 近地顕著数回,11/25 遠震		4/10 近地,5/31 遠震,6/25 遠震顕著,6/31 遠震
1955年		7/26 ペルー深発,8/15 遠震2回,8/28 近地,9/3 近地
1-12月 耐震・土中室・震研地下室 667枚		9/14 遠震,11/6 近地,顕著,11/7 近地,11/12 近地
耐甲・乙・耐丙・耐丁・土中上下・強震計		
石本微動計 NS×500,変位計・速度計・加速度計		1959年
1/11 茨城県南部,1/17 千葉北部,3/17 カムチャツカ		1-12月 耐震・土中室・震研地下室 674枚
3/31 ミンダナオ,4/14 モンゴル,4/15 パミール		耐甲・耐乙・耐丙・耐丁・土中上下・強震計・石本微動計
		変位計・速度計・加速度計
		1/21 福島県沖,1/24 近地顕著,3/17 遠震,4/26 遠震
		5/4 遠震 (甲・乙・丙・丁記録),6/8 遠震,8/15 台湾
		8/18 イエローストーン,9/23 近地顕著,10/26 福島県沖

資料 1. (つづき)

11/8 北海道,12/28 遠震

甲・乙号 変位計・速度計・加速度計

1960 年

1-12 月 耐震・土中室・震研地下室 882 枚

2/5 近地顕著,3/1 遠震顕著,3/28 遠震顕著,5/7 近地顕著

耐甲・耐乙・耐丙・耐丁・土中上下・強震計・石本微動計

5/8 近地顕著,5/24 近地顕著,5/30 近地顕著

変位計・速度計・加速度計

6/16 新潟地震 M7.5,7/11 近地顕著,10/24 近地顕著

1/14 近地顕著,3/19 三陸沖 M7.5,3/20,3/22,3/23 三陸沖

12/8 伊豆大島近海 M5.8,甲・乙記録良好

5/21 チリ-,5/22 チリ・肆波,7/29 近地顕著,7/3 1遠震

12/11 秋田県沖 M6.3 稍顕著

10/9 日本海 M6.5,10/28 近地顕著

1965 年

1-12 月 時計台・震研地下室 397 枚

1961 年

1-12 月 耐震・土中室・震研地下室 856 枚

甲・乙号 変位計・速度計・加速度計

耐甲・耐乙・耐丙・耐丁・土中上下・強震計・石本微動計

(5 月から弥生新館移転)

変位計・速度計・加速度計

1/24 遠震顕著,1/27 近地,2/4 遠震顕著,3/16 遠震顕著

1/16 関東・東北沖,6 回連続,1/17 2回,2/2 近地

3/29 遠震顕著,5/31 千葉県北部,9/22 近地,11/11 近地

2/25 近地顕著,7/18 屋久島東方沖,

1966 年

7/23 ニューヘブリデス諸島,8/10 釧路沖 M7

1-12 月 地震研地下室 (以後弥生新館を指す) 692 枚

8/19 北美濃 M7,11/14 近地,12/19 遠震, (9/29 耐震家屋

甲・乙号・変位計・速度計・加速度計

取り壊し工事開始)

3/12 遠震顕著台湾東方沖 M7.8 ,3/22 遠震顕著

1962 年

1-12 月 時計台 甲・乙号 643 枚

4/3 茨城県沖,4/6 と4/15 日の松代地震保科記録混入

震研地下室 変位計・速度計・加速度計

4/21 近地,6/25 近地,7/7 遠震顕著,8/3 松代,8/19 トロコ

(耐丙・耐丁・土中上下・微動計・強震計は廃止)

8/28 松代,9/16 松代 (赤柴・象山の記録),10/17 ペルー

1/4 近地,2/6 多摩川上流顕著,2/14 遠震,2/25 近地

10/28 千葉県北部

4/11 近地顕著,4/23 広尾沖 M7,4/30 宮城県北部 M6.5

1967 年

1-12 月 地震研地下室

358 枚

5/7 遠震,5/15 遠震,5/21 遠震,7/15 近地,8/25-31

甲・乙号・変位計・速度計・加速度計

9/1-3 三宅島群発,9/24 東京湾, 9/26 近地顕著

1/4 モンゴル,1/13 遠震顕著,4/5 近地 (位相が特徴)

10/9 遠震,11/3 近地,11/14 近地,12/7 近地,12/21 近地

7/22 遠震顕著,8/14 琵琶湖深発 400km,9/18 近地顕著

1963 年

1-12 月 時計台・震研地下室 399 枚

1968 年

1-12 月 地震研地下室

465 枚

甲・乙号・変位計・速度計・加速度計

甲号・乙号・変位計・速度計・加速度計

2/13 遠震顕著,2/27 遠震,3/16 千島中部,3/26 近地顕著

1/6 八丈島近海顕著,1/29 遠震顕著

4/16 遠震顕著,5/8 近地顕著,6/19 遠震顕著

2/21 えびの地震 M:5.6,6.1,2/22M:5.5

6/28 遠震顕著,7/10 遠震顕著,8/15 近地顕著

3/6 千葉県南西部 M:5.2,3/7 千葉県中部 M:5.2

9/11 遠震顕著 G-wave か?,10/13 遠震顕著エトロフ

3/30 日向灘 M:7.5 (記録 6 枚)

10/19 遠震顕著,11/3 遠震顕著

5/16 十勝沖 M:7.5 (余震含め 40 枚),5/18 近地顕著

1964 年

1-12 月 時計台・震研地下室 525 枚

6/16 十勝沖顕著,7/1 東松山 M:6.1,7/4 宮城県沖顕著

7/10 近地顕著,7/16 秋田県,8/5 筑波山顕著

8/14 遠震顕著,8/17 京都北部,8/31 遠震

資料 1. (つづき)

9/21 浦河沖顕著,10/8 千葉県中部,11/23 近地	10/29 千葉県中部,10/31 茨城県南西部,11/1 千葉県北部
1969年	1975年
1-12月 地震研地下室	1-12月 地震研地下室
甲号・乙号・変位計・速度計・加速度計 313枚	変位計・加速度計 87枚
1/4 遠震,1/18 遠震,1/30 遠震顕著,2/28 遠震,3/15 近地	1/9 銚子付近,1/13 千葉沖,1/21 千葉沖,2/4 中国遠震
3/26 遠震,3/31 遠震,4/9 近地,5/14 遠震,7/18 遠震顕著	3/11 栃木県中部,3/14 愛知岐阜県境,3/30 茨城県南西部
8/11 遠震顕著大,8/14 遠震	4/2 八丈島,4/8 福島沖,4/12 千葉北部,4/12 茨城県南西部
9/3 鳥島近海顕著大 (甲・乙・変位計良好)	4/21 大分県中部,5/4 福島県沖,5/6 鳥島東方
11/21 遠震顕著大,11/22 遠震顕著大,12/31 遠震	5/30 本州中部,5/30 新潟長野県境,6/4 千葉県中部3回
1970年	1976年
1-12月 地震研地下室	1-12月 地震研地下室
甲号・乙号・変位計・速度計・加速度計 159枚	甲・乙・変位計・加速度計 61枚
1/4 遠震顕著,1/10 遠震,1/19 遠震,1/19 近地	1/17 近地,2/14 八丈島 M:6.2 d=560km,2/25 福島沿岸
4/1 近地,4/6 遠震顕著,4/8 近地,4/11 遠震,4/15 近地	4/3 茨城県沖,4/24 千葉県沖,4/26 伊豆大島近地
5/27 近地,5/30 遠震,7/31 遠震,8/26 近地,8/29 遠震	5/13 東京都東部,6/4 宮城県沖,6/6 埼玉県東部
8/31 遠震,9/14 近地顕著,10/15 近地,10/31 遠震	6/16 山梨県東部2回,7/8 岩手県沖,7/14 茨城県
11/7 遠震,11/13 遠震	7/18 茨城県,7/28 中国 M:8.0,M:7.4 2回
1971年-1972年	(震研紛争) 中止
10/18 筑波のみ 1枚	8/17 ミダナオ M:7.9,8/18 伊豆東部,10/6 福島県沖
1973年	1977年
3-12月 地震研地下室	1-12月 地震研地下室
変位計・加速度計 78枚	甲・乙・変位計・加速度計 61枚
3/27 近地,4/28 近地,5/1 近地,5/18 近地,6/8 近地	1/17 近地,2/14 八丈島 M:6.2 d=560km,2/25 福島沿岸
6/9 近地,6/17 根室沖 M:7.4,6/18 近地 M:6.1,6/19 近地	4/3 茨城県沖,4/24 千葉県沖,4/26 伊豆大島近地
6/20 近地,6/24 根室 M:7.1, M:6.5,7/7 近地,7/14 遠震	5/13 東京都東部,6/4 宮城県沖,6/6 埼玉県東部
7/20 茨城沖,8/24 福島県沖,9/5 東北,9/10 東北	6/16 山梨県東部2回,7/8 岩手県沖,7/14 茨城県
9/10 ウラジオストク d=600km,9/29	7/18 茨城県,7/28 中国 M:8.0,M:7.4 2回
ウラジオストク d=600km,10/1 銚子,11/19 宮城沖	8/17 ミダナオ M:7.9,8/18 伊豆東部,10/6 福島県沖
11/25 和歌山,12/27 八丈島	11/8 宮城県沖,11/15 神奈川県中部,12/2 鳥島
1974年	1977年
2-11月 地震研地下室	2-12月 地震研地下室
変位計・加速度計 67枚	甲・乙・変位計・加速度計 34枚
2/22 紀伊半島沖 M:6.9,3/3 千葉沖 M:6.1	2/14 千葉北部,2/19 八丈島
4/4 福島県東部,5/3 千葉沖,5/5 福島県沖	3/9 日本海西部 M:7.2,d=600 km,3/30 茨城県中部
5/9 伊豆半島沖 M:6.9,6/2 近地,6/27 八丈島	4/19 茨城沿岸,5/3 千葉北部,5/13 千葉中部
7/8 茨城県沖,8/4 茨城県沖,9/27 八丈島	

(1973年以降、甲・乙は低倍率強震用となる)

資料 1. (つづき)

6/4 東京湾北部, 6/8 宮城県沖, 6/22 千葉県東方沖
 8/21 茨城県, 8/21 千葉県東部, 9/5 八丈島
 10/5 茨城県南西部, 11/18 八丈島, 12/17 茨城沖

9/24 茨城県南西部, 9/25 関東南東部沿岸 M:6.1
 10/6 茨城県南西部, 10/9 関東東方沖, 10/20 八丈島
 10/24 関東東方沖, 11/9 千葉県西部

1978年

1-12月 地震研地下室

甲・乙・変位計・加速度計 91枚

1/14 伊豆大島近海 M:7.0, 1/14 伊豆半島中部
 1/15 伊豆中部, 1/16 伊豆中部, 2/20 宮城県沖
 3/2 岩手県中部, 3/7 日本海中部, 3/7 本州はるか南方
 3/16 八丈島近海 M:6.7, 3/20 茨城県南西部
 3/22 エトロフ M:6.5, 6.6, 6.7, 3/25 エトロフ 7.3
 4/7 千葉県東方沖 M:6.1, 5/13 茨城沖
 5/16 青森沖 M:5.8 が 2 回, 5/23 種子島 M:6.7
 5/26 東京湾, 6/4 島根県中部 M:6.1, 6/4 島根県中部 M:5.5
 6/12-21 宮城県沖 M:7.4, M:6.3, M:5.2, M:5.8
 6/28 東北沖, 7/23 台湾 M:7.1, 9/17 イラン M:7.7
 10/7 長野県南西部, 10/11 八丈島, 11/23 伊豆半島中部
 12/3 伊豆大島, 12/6 ケナシリ島 M:7.7 d=100km

1981年

1-9月 地震研地下室

甲・乙・変位計・加速度計 14枚
 1/3 茨城県南西部, 1/23 本州東方沖 M:6.6
 北海道南沿岸 M:7.1, d=130km 1/28 茨城県南西部
 4/13 福島県沖, 9/3 北海道南東沖 M:6.5, 9/4 関東東方沖

1982年

7-12月 地震研地下室

甲・乙・変位計・加速度計 28枚
 7/23 茨城県沖 M:7
 7/25, 8/12, 8/14, 8/16, 8/24 以上関東東方沖
 9/6 鳥島 M:7, d=180km
 12/28, 12/29 とも三宅島近海 M:6.4, M:5.9, M:5.2

1983年

2-12月 地震研地下室

甲・乙・変位計・加速度計 32枚
 2/27 茨城県南部 M:6.0, 5/26 日本海北部 M:7.7 (乙号記録良好), 6/21 青森県西方沖 M:7.1, 8/8 神奈川山梨県境
 8/26 潛戸内海西部 M:6.8, d=116km, 10/3 三宅島近海
 M:6.2, 10/15 関東北部, 10/16 本州中部沿岸
 10/17 関東北部, 10/31 本州南方はるか沖 d=531km
 11/16 本州南東沖, 12/30 関東東部沿岸
 12/30 関東南東部沿岸

1984年

1-12月 地震研地下室

甲・乙・変位計・加速度計 48枚
 1/1 東海道はるか沖 M:7.3, d=388km, 2/21 関東北部
 3/6 鳥島 M:7.9, d=452km, 6/13 鳥島, M:5.9, 6/30 関東北部
 8/7 日向灘 M:7.1, 9/14 長野県西部地震 M:6.8 (甲・乙記録良), 9/15 余震 M:6.2, 9/19 関東南東はるか沖 M:6.6 (甲・乙記録良), 9/21 房総半島南東沖 M:5.7, M:5.7, M:5.8, M:5.1
 10/3 長野県西部余震
 11/2 関東南部, 12/9 関東北部, 12/17 東京湾

1979年

1-10月 地震研地下室

変位計・加速度計 25枚
 1/3 茨城県南部, 3/11 福島県沖, 5/5 東京都西部
 5/13 北海道南部, 5/17 茨城県沖
 5/19 ボルキヤノ諸島 M:6.6, 5/21 千葉県北部
 7/11 茨城県沖, 7/13 潜戸内海西部, 8/12 千葉県沖
 8/16 宮城県沖, 8/17 日本海西部 M:6.8 d=600km
 9/17 千葉県北部, 10/13 銚子付近
 10/17 マリアナ諸島 d=600km, 10/28 千葉県東方沖

1980年

5-11月 地震研地下室

甲・乙・変位計・加速度計 46枚
 5/12 関東北部, 6/10 関東北部, 6/18 東京湾
 6/27 伊豆半島, 6/29 伊豆半島 M:6.7, 6/30 東北南東沖
 6/30 伊豆半島, 7/7 伊豆半島, 7/16 東北南部沖
 7/18 ニュー・ヘブリデス 諸島 M:7.9 (変位計のみ)
 7/27 伊豆半島, 8/15 関東南方沖, 9/10 関東南方沖

資料 1. (つづき)

1985年

1-11月 地震研地下室		8/1-4 伊豆半島沖群発 M:5.2,M:4.9,M:4.8,M:5.2,M:4.6 M:4.7,8/12 千葉県南部,9/5 山梨県東部
甲・乙・変位計・加速度計	18枚	9/7 四国海盆 M:6.8,d=514km,9/29 埼玉県西部
1/6 北海道北東沖,1/7 千葉県中部,3/20 茨城県南西部		9/30 埼玉県西部,10/28 房総半島南東沖
3/28 宮城県北部,3/29 秋田県北部		11/6 中国・ビルマ国境 M:7.3
4/9 房総半島はるか沖,4/11 鳥島付近地 M:6.8		

1989年

2-12月 地震研地下室		
甲・乙・変位計・加速度計	36枚	
2/19 茨城県南西部,3/6 銚子付近地 M:6.0		
4/26 千葉県北部,4/26 茨城県沖		
4/27 鳥島東方 M:6.5,d=86km,4/28 福島県沖		
7/7,7/9,7/14 伊豆半島東部沖		
10/14 伊豆大島近海,10/27 三陸はるか沖 M:6.1,d=0km		
10/27 三陸はるか沖 M:6.2 10/29 三陸はるか沖 M:6.5		
11/2 三陸はるか沖 M:7.1 (甲・乙号記録良好)		
11/5 三陸はるか沖,12/7 埼玉県東部,12/9 茨城県沖		

1986年

2-12月 地震研地下室		
甲・乙・変位計・加速度計	26枚	
2/4 小笠原西部沖 M:6.9,d=541km,2/12 茨城県沖 M:6.1		
5/8 アリューシャン M:7.6,6/24 房総半島南東沖 M:6.5		
6/25 房総半島南東沖 M:5.1		
10/20 ケルマデック諸島 M:6.6		
11/15 台湾 M:7.5 (甲・乙記録良好), 11/29 茨城県沿岸		
12/1 金華山 M:6.0		

1987年

1-12月 地震研地下室		
甲・乙・変位計・加速度計	65枚	
1/9 岩手県北部 M:6.6,1/14 日高山脈 M:7.0,d=119km		
2/6 福島県東方沖 M:6.4,6.7 の2回,3/18 日向灘 M:6.6		
3/24 新潟県南部沖,4/7 福島県東方沖 M:6.6		
4/10 茨城県南西部,4/17 福島県東方沖 M:6.1		
4/17 千葉県北部,4/23 福島県東方沖 M:6.5		
5/9 和歌山県北東部,5/10 茨城県東方沖		
5/11 伊豆半島東方沖,5/12 金華山,6/30 茨城県南西部		
7/11 福島県東方沖,7/12 茨城県南西部		
7/16 東海道はるか沖 M:6.3,d=324km, 10/18 山梨県東部		
12/1 遠震,12/2 鳥島 M:6.6,d=198km,12/17 千葉県東方沖		
M:6.7,12/17-18 九十九里沿岸 M4級が4回		

1988年

1-11月 地震研地下室		
甲・乙・変位計・加速度計	30枚	
1/16 九十九里沿岸,1/26 九十九里沿岸		
3/18 東京都下 M:6.0		

1990年

2-9月 地震研地下室		
甲・乙・変位計・加速度計	25枚	
2/12 茨城県沖,2/20 伊豆大島付近地 M:6.5		
5/2 サハリン南部 M:7.8,d=594km		
5/11 日本海 M:6.5,d=596km,5/17 富山湾 M:5.8,d=272km		
6/1 銚子付近地 M:6.0, 7/4 茨城県南部		
7/16 ルソン島 M:6.6 (甲・乙記録良好)		
8/23 九十九里沿岸 2回,9/3 東海道はるか沖 M:6.3		
9/24 東海道はるか沖 M:6.6,9/24 東海道はるか沖 M:6.0		

1991年

8-12月 地震研地下室		
変位計・加速度計	6枚	
8/28 島根県東部,9/3 東海道はるか沖 M:6.3		
11/13 東京湾,12/26 地震 2回		

1992年

4-12月 地震研地下室		
甲・乙・変位計・加速度計	58枚	
4/23 茨城県南西部,4/23 中国・ミャンマー国境 M:6.4		
5/7 襟裳岬,5/11 茨城県,5/15 遠震,5/17 遠震		

資料 1. (つづき)

5/20 浦賀海峡,5/21 ニューギニア,5/22 鳥島近海	1927年	8月18日教室×2 強震計 近地顯著	1枚
5/26 千葉県東部,5/27 鹿島灘,5/29 千葉県北部	1928年	5月21日教室簡微×300 東京湾 VI	11枚
5/30 小笠原,6/1 茨城県沖,6/10 浦賀沖,6/17 近地		14年式×50	
6/15 伊豆半島,6/16 宮城県沖,7/12 北海道,7/16 宮城沖		教室微動計×120	
7/18 三陸沖 M:7.0,7/25 宮城県沖,7/29 宮城県沖		15年式 EN×50,Z×25	
8/7 若狭湾 M:6.1,d=331km,8/11 小笠原 M:6.2		教室2号 A·B×1.5	
8/27 茨城県南西部,8/24 北海道南部 M:6.2,d=137km		清澄簡微×50	
8/30 遠震州灘 M:6.6,d=331km,12/12 インドネシア M:7.5		三崎簡微×120	
12/20 バンダ海 M:6.5,12/26 近地,12/27 近地		東金 14年×50	
12/28 宮城県沖,12/31 宮城県沖		秩父 14年×50	
[1993年]	[1930年]	5月1日教室×2 強震計 銚子沖	1枚
1-7月 地震研地下室	6月1日 同上	茨城沖 M:6.5	1枚
甲·乙·変位計	11月25日 同上	北伊豆 M:7.0	1枚
1/15 鉄路沖 M:7.8,d=107km	[1931年] 6月17日 同上	東京都下 M:6.4	1枚
1/19 日本海中部 M:6.9,d=489km	8月10日 同上	近地顯著	
2/7 能登半島沖 M:6.6,2/25 岩手県沖,3/19 茨城県沖	[1933年] 3月3日 同上	三陸沖地震	1枚
7/12 北海道西部 M:7.8 (甲·乙記録良好)	[1935年] 7月11日 同上	静岡地震	1枚
[1994年]	[1938年] 11月5日 同上	近地顯著	1枚
8月 地震研地下室	11月7日 同上	近地顯著 3	1枚
変位計	11月9日 同上	近地顯著	1枚
(追加-1)	11月10日 同上	近地顯著 2	1枚
1924年-1926年 教室強震計 (大震計) ENZ×0.5	11月13日 同上	近地顯著	1枚
1927年-1934年 教室強震計 (大震計) ENZ×0.5	11月22日 同上	近地顯著	1枚
1925年 3-12月 耐震上下動×30 (大型用紙)	11月30日 同上	近地顯著	1枚
1926年 1-12月 耐震上下動×30 (大型用紙)	[1941年] 7月15日 教室×2 強震計 長野地震		1枚
1927年 1-12月 耐震上下動×30 (大型用紙)	11月18日 同上	日向灘地震	1枚
3/7 丹後地震初動良,但し記象紙損傷	[1942年] 2月21日 同上	近地顯著	1枚
1928年 1-5月 耐震上下動×30 (大型用紙)	7月16日 同上 強震計を教室から耐震家屋に移転。		
(追加-2)	11月15日 耐今村×2 強震計 近地顯著		1枚
1926年 4月18日 教室微動計×120EN	[1943年] 9月10日 耐今村×2 強震計 鳥取地震		1枚
教室簡微×300EN	[1944年] 12月7日 耐今村×2 強震計		1枚
14年式×50EN	[1945年] 1月12日 耐今村×2 強震計		1枚
清澄 14年×50EN	[1948年] 1月28日 土中室×2 強震計 福井地震 M:7.2		1枚
1926年 8月3日 教室×2 強震計 千葉県 M:6.3	[1951年] 11月24日 耐今村×2 強震計 台湾		1枚
1927年 5月22日教室×2 強震計 遠震顯著	[1952年] 3月7日 土中室×2 強震計 大聖寺地震 (不良)		1枚
1927年 8月5日 教室×2 強震計 近地顯著	7月18日 土中室×2 強震計 吉野地震		1枚

資料 1. (つづき)

1953年	11月26日土中室×2強震計 房総南東沖	1枚	1962年		181枚
1956年	2月13日 土中室×2強震計 東松山付近地 M:6.0	1枚	(追加-4)	地震研地下室	
1974年	3月2日 大森乙号×20NS 近地顯著 (追加-3)	1枚	1989年	7月3日 変位計EN・加速度計EN 地震12回	2枚
			1992年	5月25日大森式EN・変位計 検定記録	3枚
				8月28日 大森式・加速度計ENZ 遠州灘M:6.6	3枚
				8月30日 変位計EN 地震1回	1枚
筑波観測所			1993年	2月12日 変位計EN 地震2回	1枚
大森式微動計 EN×120・変位計 EN・加速度計 ENZ				5月14日 大森式EN・変位計EN 近地	3枚
1922年	9/1台湾M:7級	370枚		5月14日 加速度計EN 地震1回	1枚
1923年		605枚	1924年	6月5日 大森式EN・変位計EN 地震2回	3枚
1925年		432枚	1926年	6月7日 変位計EN 地震1回	1枚
1927年	3/7遠震顯著大,5/22遠震顯著大,6/3遠震 8/18遠震顯著大,8/23近地顯著,12/28遠震顯著大	381枚	1928年	6月14日 変位計EN 地震1回	1枚
1928年	3/9遠震顯著,5/19近地顯著,5/20近地顯著 6/1近地	308枚	1929年	7月19日 変位計EN 地震4回	1枚
1929年	3/7遠震,4/17近地,4/23近地,6/26近地 6/27近地,11/16遠震顯著,12/17遠震顯著	251枚	1930年	7月27日 変位計EN 地震2回	1枚
1930年		333枚	1931年	7月30日 大森式・変位計EN 遠震	2枚
1931年		559枚	1932年,1933年,1935年,1937年,1939年,1940年	8月30日 変位計EN 地震	1枚
1941年		813枚	1942年	10月11日 変位計EN・加速度計ENZ 地震	3枚
1942年		1,162枚	1943年	11月5日 変位計EN 地震	1枚
1943年		904枚	1944年	(追加-5)	
1944年		144枚	1945年,1946年,1947年	1923年 10月9日-1924年2月13日	345枚
1945年,1946年,1947年		321枚	1948年,1949年,1950年	微動計,簡単微動計×30-50倍	
1948年,1949年,1950年		315枚	1951年		
1951年		224枚	1952年		
1952年		392枚	1953年		
1953年		452枚	1954年,1955年		
1954年,1955年		302枚	1956年		
1956年		174枚	1957年,1958年		
1957年,1958年		379枚	1959年		
1959年		365枚	1960年		
1960年		365枚	1961年		
1961年		365枚			